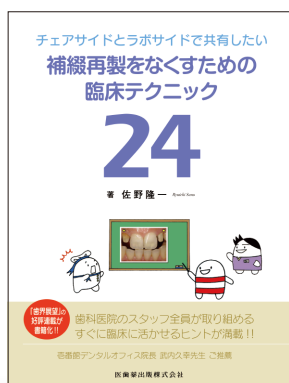


歯科医院のスタッフ全員が取り組める  
すぐに臨床に活かせるヒントが満載！



チェアサイドとラボサイドで共有したい  
**補綴再製をなくすための臨床テクニック 24**  
佐野隆一 著

A4判変/120頁 定価 6,912円：本体 6,400円＋税  
医歯薬出版（2018年6月）

若林歯科医院  
評・若林健史（歯科医師）



インレーやクラウン、ブリッジといった補綴物をセットする予定が、いざ患者さんに試適してみると適合が悪く、やむなく再製作になってしまうケースは、皆さん誰しも経験したことがあると思います。補綴物の再製作は、歯科医院のスタッフや歯科技工士にとっても非常にストレスですが、何より患者さんにとって大きな負担になってしまいます。

ここで重要なのは、「再製作になった理由」が必ず存在するということです。印象の採り方や印象材の保管方法、石膏の注ぎ方一つで、最終的にできあがってくる補綴物のクオリティは大きく変わります。スタッフ一人ひとりが、印象材や石膏の物理的な特性を理解し、科学的に適切な作業を行うことで、口腔内の状態が正確に石膏模型に再現され、歯科技工士が精度の高い補綴物を作成でき、予後のよい医療を患者さ

んに提供できるのです。

本書は、歯科医院の現場で頻繁に遭遇するストーリーを軸に、問題解決のポイントや、臨床の精度をステップアップさせるためのヒントといった、読んですぐに役立つノウハウから、それを裏づける基礎的な情報（印象材や石膏など歯科材料の特性と、適切な扱い方など）までが、かわいいイラストや豊富な写真、データとともに、非常にわかりやすく記載されています。本書は24のトピックから構成されていますが、それぞれに歯科医師、スタッフ（歯科衛生士と歯科助手）、歯科技工士、といった職種別のマークがついています。スタッフマークがついている箇所には、チェアサイドのスタッフの仕事が補綴物の精度や患者さんの予後にどのように影響するのかが記されており、日ごろのルーティンの見直しや、さらにすばらしいアシストワークを目指すうえで重要なヒントがたくさん詰まっています。まずはこのスタッフマークがついている箇所をチェックし、明日からの臨床に役立ててください。そしてそれだけではなく、歯科医師や歯科技工士のマークがついている箇所も、ぜひ読んでみてください。本書は、歯科医院で日常的に遭遇するエピソードをもとに構成されているため、読み物としても完成度の高い作品になっています。楽しみながらページをめくっているうちに、患者さんの口腔内に補綴物がセットされるまでの全体像と、各ステップでの重要なポイントが自然と頭に入ってきています。異なる職種の仕事内容をお互いに理解することで、円滑なチーム医療が実現され、最終的には患者さんの利益につながるのです。

本書は月刊『歯界展望』で読者から大好評を博したシリーズが、書籍化されたものです。本書に書かれているポイントを身につけ、歯科医院スタッフがチーム一丸となって、患者さんに最高の医療を提供できるようお互いに頑張りましょう！